

[Poster] 一般演題ポスター 【抄録・スライド】**[P1-03] バイスタンダーCPRに合併した胃破裂の1例**

*加藤 晶人¹ (1. 昭和大学横浜市北部病院 救急センター)

バイスタンダーによる心肺蘇生（CPR）は心肺停止症例の救命率を向上させる。しかし、CPRに伴う合併症は無視できず、その合併症の多くは胸部合併症であり、腹部合併症は少ない。今回、バイスタンダーCPRにより胃破裂を生じた症例を経験した。症例は83歳女性で既往歴はない。自宅内で縊頸による心肺停止状態を家族に発見され、家族による胸骨圧迫と人工呼吸が施行され、発見から20分後に自己心拍が再開した。その後救急隊が到着して頸椎保護とBVMによる補助換気が行われながら当院へ搬送された。画像検査で右第3-6肋骨骨折と胃小弯側の穿孔と思われるfree airを腹腔内に認めた。その後血圧が維持できず搬送翌日に死亡された。CPRによる胃破裂は0.1%と報告されており、胃破裂の危険因子としてバイスタンダーCPR、BVMによる陽圧換気、気道確保困難がある。CPRが胃破裂をきたす要因は胃拡張で、気道確保が不十分な人工呼吸は胃拡張を生じ、さらに不適正な部位の胸骨圧迫は胃破裂をきたす。合併症が生じる可能性はあるが、バイスタンダーCPRが制限されることなく、適切なCPRが一般市民に普及されることが重要と考える。